

2 豊かな森林を育む担い手づくり

新規就業者は43人で、実践的な研修により森林整備に必要な技術の習得を支援しました。また、森林ボランティア団体数は115団体、ボランティアによる森林整備面積は117haとなり、森林環境税の導入以降森林づくり活動が県下全域に広がっています。

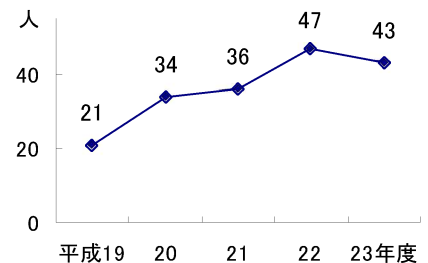
(1) 森林を守る人・組織づくり

○ 新規就業者

(新規就業者は前年度同様に40人越え)

・新規林業就業者は43人で、前年に比べ4人減少しました。

近年、森林組合等が森林整備を推進するため、新規就業者の確保に努め、増加傾向となっています。



新規林業就業者の推移

資料：林業振興課調べ

(就業相談会を活用して担い手を確保)

・県による「ふくおか農林漁業就業セミナー及び就業相談会」の開催や、北部九州4県合同による「森の仕事ガイダンス」の開催により、新規就業者の確保に取り組みました。



森の仕事ガイダンス

(木材生産の鍵を握る、森林作業道整備のため各種研修を実施)

・県産材を安定的に供給するためには、木材を運びだすための森林作業道を整備することが重要です。県は、森林作業道作設オペレーター育成研修を開催し、19人の技術者を養成しました。



実際に森林作業道を作設し、技術を学ぶ研修生

○ 安心して働ける環境づくり

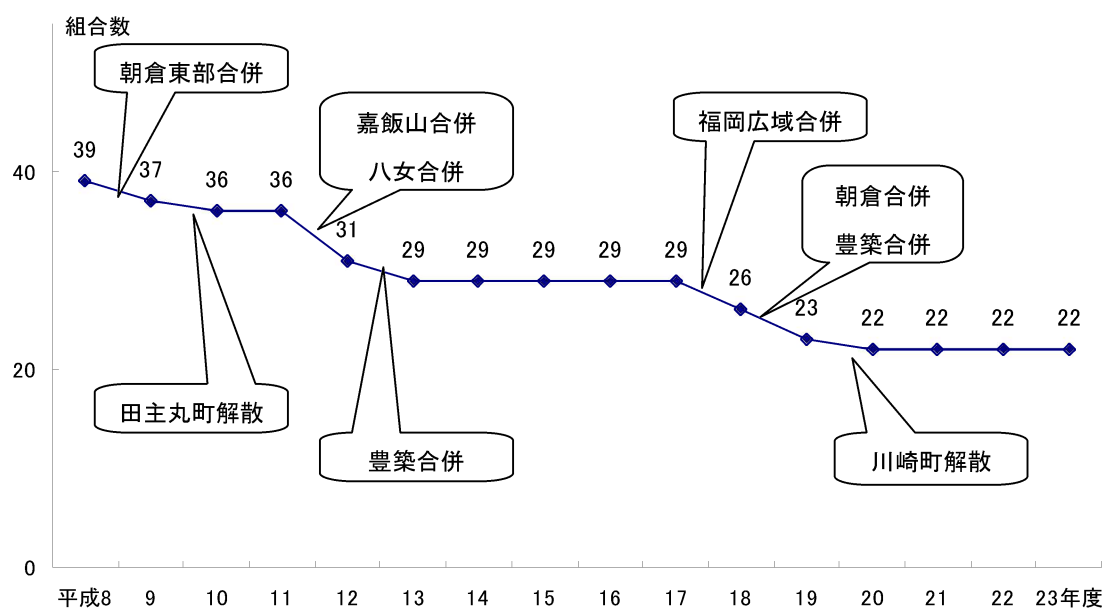
(林業現場での災害は減少)

・林業における死傷者数は47人で、前年から7人減少しました。しかし、依然として伐木時の災害が多く、今後も災害防止の取り組みが必要と考えます。

・林災防福岡県支部が行う作業現場の安全巡回指導や安全講習を支援するほか、県営事業地での現場安全点検を行い、林業災害防止に取り組みました。

【広域合併に向けた取組を支援】

- ・ 森林組合系統では経営基盤強化のため、1 県 1 森林組合を目標に広域合併を推進しています。
- ・ 「福岡県 1 県 1 森林組合合併推進研究会」において、21 年 11 月から 23 年 12 月まで約 2 年にわたって広域合併に向けた課題について検討を進めてきました。
- ・ 1 県 1 森林組合に向けた先行合併として、平成 25 年 4 月を目標に協議を進めています。



森林組合数の推移

資料：団体指導課調べ

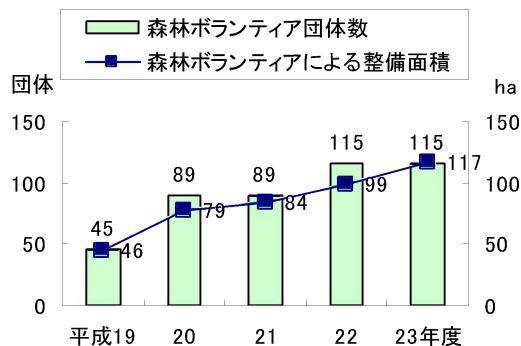
(2) 森林を支える活動

○ 県民参加の森林づくり

(森林づくり活動が広がる)

・森林ボランティア団体数は、森林環境税の導入以降大幅に増加し、115団体となりました。

整備面積は117haとなり、前年に比べ18ha増加しました。



森林ボランティア団体数

資料：林業振興課調べ

(緑の大切さを伝える)

・平成23年5月、芦屋町で「植えた木は未来の子へのプレゼント」を大会テーマに、知事や県議会議長出席のもと第62回福岡県植樹祭を開催しました。大会では、子ども達による「緑の誓い」や参加者による記念植樹を通じて緑の大切さを伝えました。



第62回福岡県植樹祭 記念植樹(芦屋町)

(緑の少年団活動を通して子ども達を育成)

・福岡県の緑の少年団は、現在40団体4,283名の団員が活動しており、平成23年8月には、福岡市立背振少年自然の家で緑の少年団交流集会を開催しました。集会では、森林での学習活動や自然観察会などを通じて自然を愛し、人を愛する心豊かな子ども達の育成に取り組みました。



交流集会での森林学習活動